

## 人材・拠点・広報・財政の支援 市民が活動しやすい環境づくりの推進

市民協働を進めていくには、地域での活動だけでなく、教育や環境など、特定の目的のために活動しているNPO法人やボランティア団体を支援することも重要です。本市では次の四つの基本目標を掲げ、市民の皆さんが活動しやすい環境づくりを推進します。

### 人材の育成

- 市民活動を展開する上で、人材が重要なことは言うまでもありません。本市では、現在の活動メンバーやリーダーの資質向上に向け支援を行うと同時に、次世代を担う人材の育成や支援を行います。
- ① 市民活動団体自主講座開催の支援
  - ② 市民活動団体リーダー育成への支援
  - ③ 「市民協働のまちづくり講座」開催の検討

### 活動拠点の整備

本市では、平成十七年度に「させぼ市民活動交流プラザ」（旧戸尾小学校跡地）を開設し、たくさんの方々の市民活動団体に利用されています。このプラザを更に充実させるためには、利用している皆さん

がこのプラザを自主的・主体的に運営できるようにすることが必要です。本市では平成二十二年度から民営化できるように検討していきます。

また、地域コミュニティの拠点施設として重要な位置を占める地区公民館などのさらなる活用を検討していきます。

### 広報活動の支援

現在、市民活動団体の広報活動は各団体で実施していますが、必ずしも十分なものではありません。本市では今後、ホームページ「させぼNPO・ボランティア支援ネット」の充実、市広報手段の活用、ケーブルテレビの活用、FM放送局との連携などを検討します。

### 財政面の支援

市民活動の活性化のためには、財源確保も必要です。財源の確保は団体自身で行うことが基本です。本市では、市民活動のさらなる活性化を目指し、「市民公益活動団体自立化支援基金」の充実、「市民公益活動団体自立化支援事業」の活用促進を図ります。

## 「食育祭inさせぼ」市民活動団体「大地といのちの会」

1月19日、市民団体「大地といのちの会」の1年間の活動の集大成となる「食育祭inさせぼ」が、自立化支援補助金を活用して、アルカスSASEBOで開催されました。当日は市内外から約2,000人が来場。会場では、講演会やみそづくり体験教室、食生活体験ラリーのほか、給食から出た生ごみを肥料にし、野菜づくりに取り組んでいる小・中学校の事例発表なども行われました。来場者の皆さんは、これらの催しを通して、食べ物への感謝や正しい食生活などを学び、食育の大切さを改めて認識したようでした。



市民団体「大地といのちの会」生ごみを栄養が豊富な肥料へリサイクルし、元気な野菜づくりを推進することで、健全な食事と健康的な体づくりに取り組んでいます。吉田俊道代表をはじめ約60人のスタッフが、させぼ市民活動交流プラザを拠点に、元気野菜づくりの定例学習会や、料理教室、食育体験弁当教室を定期的で開催したり、学校などで数多くの講演を行ったりしています。平成18年には、本市との協働による食育の活動が高く評価され、地域づくり総務大臣表彰「地域振興部門」を受賞しました。

大地といのちの会・たまおく交流室  
☎25-2600（11時～17時、水曜休み）  
ホームページ <http://www13.ocn.ne.jp/~k.nakao/>

食育の普及推進には、地道な活動が必要で、長い時間がかかります。こうした事業を効果的に推進するためには、行政だけでなく、意欲的に活動している大地といのちの会の皆さんのような強力なパートナーとの協働が欠かせません。本市では、今後とも各種団体と一体となって取り組みを進めます。



参加者に生ごみリサイクルを説明するスタッフ

## 自立化支援補助金の申請団体を募集します！

- |                         |   |   |
|-------------------------|---|---|
| ①ファーストステップ補助金(初動期支援補助金) | 対 象   | 設立後おおむね1年以上を経過し、着実な活動を展開しているが、自立化に向け、活動拡大・充実を課題としている市民公益活動団体が行う事業 |
| 目 的                     | 活動開始後間もない市民公益活動団体の初動期支援として、事業補助を行うもの                |   |
| 対 象                     | 新結成または設立後おおむね1年以内にある市民公益活動団体が行う事業                   | 補助金額 限度額50万円以内<br>(補助対象経費の2分の1以内、備品購入費は125,000円以内)                |
| 補助金額                    | 限度額10万円以内(備品購入費は25,000円以内)                          | 募集期限 ①②とも5月30日(金)   |
| ②スケールアップ補助金(事業拡大期補助金)   | ※申請書類など詳しくはお尋ねを。                                    |   |
| 目 的                     | 初動期を乗り切った団体の新規事業の立上げ、または既存事業の拡大、充実を支援するため、事業補助を行うもの | ☎市民協働推進室 ☎24-1111   |

## こんにちは！市民協働推進室長です



市民協働推進室長 岩田 譲二

佐世保市では、今回の「市民協働推進計画」の策定で、「市民協働のまちづくり」に取り組んでいくための基盤となる指針や計画策定という段階を終え、今後は本格的な取り組みを推進していくこととなります。

このような基盤づくりと並行してこれまで進めてきた、市民活動の拠点である「させぼ市民活動交流プラザ」の整備や基金、補助制度の創設、専門研修の開催などについても一層充実させて、より実効性があり、市民も行政もまちづくりへの思いを共有できるような市民協働への取り組みを進めていきたいと考えています。

いよいよ佐世保市の「市民協働のまちづくり」は本番を迎えます！

シリーズ最終回は「広報させぼ9月号」で特集する予定です。  
市民協働に関するお尋ねなど ☎市民協働推進室 ☎24-1111